

1 自己評価

(1) 学校評価アンケート結果

・実施時期 令和5年11月 ・対象：児童13名、保護者・学校運営協議会委員18名、職員8名
 ・スコア算出方法 (4とてもそう思う～1そう思わないの合計) ÷ (人数×4) × 100%

	評価内容	児	保	職
学校	①学校は、一人一人の個性や気持ちを大切にしている。	96.2	88.9	100.0
	②学校は、安全で安心できる場所である。	94.2	81.9	93.8
学校経営方針	③子供理解を基盤とし、子供の気持ちに寄り添う温かな支援・指導に努めている。		84.7	100.0
	④子供が活躍する場を設け「認め・励まし・鍛え・伸ばす」指導に努めている。		88.9	84.4
	⑤子供の実態をつかみ、「分かる授業」「個別最適な学び」の実現に努めている。		87.5	84.4
	⑥円滑な情報共有と迅速・丁寧な対応を心掛けている。		84.7	90.6
	⑦積極的に情報発信し、地域・保護者の声を丁寧に受け止めている。		81.9	90.6
	⑧CSを生かした教育活動を推進している。		84.7	87.5
	⑨「前始末」「協働」によりチームとして学校運営を推進している。			90.6
	⑩支援員、SC、SSW等との情報共有・連携を図っている。			90.6
	⑪「熊小いじめ防止基本方針」を共通理解し、学校体制で対応にあたっている。			100.0
重点目標 (キャリア教育)	①人の気持ちを聞き、自分の考えをわかりやすく相手に伝えることができる。 (「ひと」とかかわる力)	76.9	73.6	65.6
	②夢に向けて、前向きに粘り強く努力することができる。 (「自分」を高める力)	82.7	80.6	71.9
	③課題解決のために見通しをもち協力し合って解決することができる。 (「チャレンジ」する力)	84.6	79.2	78.1
	④なりたい自分に向けて試行錯誤しながら努力することができる。 (「ゆめ」につなぐ力)	84.6	80.6	78.1
	⑤ふるさと「くんま」の人・もの・ことに関心をもって学んでいる。	82.7	86.1	84.4
	⑥「ふるさと学習」で学んだことをもとに、地域のために活動しようとしている。	90.4	77.9	84.4
学習	⑦学校や家庭での学習習慣が身に付いている。	78.8	79.2	65.6
	⑧自分の考えをわかりやすく(簡潔に、根拠を示して)相手に伝えることができる。	75.0	76.4	65.6
	⑨学習したことを、他の学びや生活と結びつけて考えることができる。	84.6	75.0	68.8
学校の特色	⑩一輪車の演技で自分の目標に向かって努力し、全員で一つの演技を成功させるために自分の役割を果たそうとしている。	88.5	91.7	96.9
	⑪積極的に首を覚え、進んで百人一首に取り組んでいる。	78.8	83.3	78.1
	⑫全校合唱では、みんなと協力しながら意欲的に取り組んでいる。	86.5	90.3	96.9
	⑬地域の人・もの・ことを生かした体験活動に進んで取り組んでいる。	75.0	80.6	90.6
	⑭幼稚園児との交流を通し、よきモデルとなり自己肯定感を高めている。	84.6	77.9	90.6
	⑮連合教育で、他校の児童とも楽しく活動し、『自分らしさ』を発揮している。	78.8	76.6	75.0

☆ 子供たちにどんな力を身に付けさせたいと思いますか。

- | | | |
|---------------------------|-----------------------|----------------|
| ・人の痛みや辛さを理解し寄り添える力。 | ・人を思いやること。 | ・粘り強さ。 |
| ・人の話を聞くこと。 | ・自分の非を認めること。 | ・多様な考えを許容できる力。 |
| ・他校の児童とともって積極的に友達を作ってほしい。 | ・自分で考え、行動していく力。 | |
| ・自分の考えをはっきり発言する力。 | ・過去を学び、今を見つめ、明日を考える力。 | |

(2) 学校評価結果をふまえた考察

- 熊小が安全で安心できる学校であり、一人一人を大切にしているという基本的経営方針がおおよそ認められている。
- 子供に寄り添い温かな指導を心掛け、チームとして学校全体でよりよい教育を目指そうとする職員の意識が高い。
- 重点目標（キャリア教育）で、児童において一定以上の高い評価が得られた。日々の授業や行事を通して、継続的に意識している成果の表れである。
- 一輪車や全校合唱において、とても高い評価が得られた。繰り返し練習することを通して、次第に上手になっていくことへの満足感を味わったり、友達と協力するよさを感じたりすることができた。
- ふるさと「くんま」に関心をもち、地域のために活動することについての評価が高かった。150周年イベントへの参加も効果的であったと思われる。
- ▲学習面、特に、自分の考えを分かりやすく相手に伝えることについての評価が低かった。知識の定着だけでなく、考えをしっかりとらせることや、相手に分かりやすく伝えたりすることにも力を入れていきたい。
- ▲学習習慣については個人差が大きく、個に応じた継続的な指導が必要である。
- ▲連合教育で他校児童との交流の中で「自分らしさ」を発揮することについての評価がやや低かった。四小連合や三小連合で活動していくにつれて慣れていく部分も大きかった。
- ▲学校の特徴である「3つの自慢」の中で百人一首の評価がやや低い、地域の施設や校長室での朗詠を通して、少しずつ自信を付けさせている。今後も、子供たちが意欲をもって取り組むような工夫を考えていきたい。

(3) 来年度に向けた改善方策

- ①キャリア教育の意義や、4つの基礎的・汎用的能力の位置付けについて全職員で共通理解するとともに、年度初めのオリエンテーションを通じて児童に分かりやすい言葉で伝える。また、個々の実態をよく理解した上で、その子に特に身に付けさせたい力を見極めながら個に応じた指導を心掛ける。
- ②他校児童との交流の中で「自分らしさ」を発揮できることを目指し、日頃から自分の意見を伝える機会を意図的に設ける。また、リモート交流も含め、積極的に他校との交流を推進する。
- ③日々の基本的な学習習慣が身に付くよう、確実に丁寧な指導に努める。また、日々の家庭学習の積み重ねを重視し、自主的に継続的に取り組むことができるよう、個に応じた声掛けをする。
- ④「くんまを応援する活動」として「くんまおうえん社」を継続させる。今年度中に来年度に向けた見通しをもたせ、年間を通じて、地域に貢献することや、地域のよさを見付け発信することを意識させる。
- ⑤危機管理体制をさらに強化できるよう、不測の事態に備えて、危機管理とリスク管理の意識を高める。特に、いじめ防止に向けての対策や感染症防止対策、地震・大雨等の災害への対応について、全職員が共通理解し、職員の役割・行動を明確にする。

2 学校関係者評価

2月9日（金）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告した。委員からは以下のような意見があった。

○小規模校ということもあり、学習指導のみならず生活面でのしつけや子供同士の人間関係（いじめやけんか）など、子供一人一人に対する先生方のサポートが厚く、親身に対応していただいております。今後も同様の方針で指導をしてほしい。

○「百人一首大会」では、今までは録音された音声で読まれていたところが、今年は児童が交代で読み手を務めており良い雰囲気であった。将来、百人一首を聞くことで熊小のことを思い出すのではないかな。

○「天竜産業観光まつり」に参加し商品を販売する活動を通して、人と積極的に関わりアピールする力が育つと感じた。これからも継続してほしい。

○「草木染め」の活動では、教師が児童に寄り添うように関わり、児童の良さを伸ばそうとしている姿に感心した。

○今年度は150周年記念に関わる取り組みに充実感を感じた。「ゆめポスト」の立て替えでは地域の方々と協力し、子供たちが字を書き、みんなで完成させた喜びを味わうことができた。

▲児童が感想を発表するときの声が聞きづらかった。伝わるような声で話すという部分が弱いところだと感じる。

▲話すときには相手がいることをもっと意識させたい。

▲アンケート結果で、職員に比べ保護者の評価が低い部分があり、差を感じた。

▲子供たちに合った指導の仕方という点で、さらに改善の余地があるかもしれない。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について重点を置いて取り組む。

- (1) 今後も児童理解を基盤とし、子供たちが安心して、一人一人が活躍できる学校を目指すことを全職員で共通理解して教育活動を推進する。学校の経営方針を積極的に発信し、保護者や地域の協力を得る。
- (2) 少人数教育の中でも発表する場を意図的に多く設定したり、連合教育や近隣校とのオンライン交流授業に積極的に取り組んだりすることで、相手にはっきりと伝える力の育成を図る。
- (3) 「くんまを応援する活動」としての「くんまおうえん社」をはじめ、「熊小3つの自慢」や地域の方々を講師に招く「ゆめ講座」などの独自の取組を継続し、地域に開かれた魅力ある学校を目指す。
- (4) 子供たちの自主性を伸ばす取組の1つとして、複数の中から自分の興味・関心に合った活動を選ぶ形式のクラブ活動を新たに取り入れる。自分のしたいことは何かを考え、選択・判断することを通して、キャリア教育で育てたい力の1つである「キャリアプランニング能力」の育成にもつなげる。